

GINZA 2020 NEWS LETTER

11

2019.08.07

「全銀座会 G2020 (GINZA2020)」は、2020 年東京五輪大会の開催決定を受け、全銀座会内の各構成組織や各委員会に関わる横断的な組織として発足した全銀座会の一委員会です。2020 年東京五輪大会の開催に向けて、銀座に対する外部からの様々な提案や情報提供の窓口となるとともに、全銀座会及び内部組織への情報発信、情報共有、アレンジなどを行っています。

全銀座会 G2020 は、6 月に全銀座会会員宛に「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する意識調査」を実施しました。このアンケートの結果と分析内容の要点は、以下のとおりです。

調査対象者：全銀座会 全会員 / 回答状況：29 件

■**盛り上がりを感じるか**：48.3%が「感じる」と回答。次点で「感じない」で 41.4%であった。全体としては、肯定的と否定的の割合は同程度であった。

■**有効な取り組み**：最も多かった回答は「アスリートとの交流イベント」で 58.6%であった。他にも「公式エンブレムの掲出」(48.3%) が有効であるとの回答が多かった。一方で、「公式マスコット関連イベント」や「大会概要の説明会」について、有効との回答は少なかった。

■**期待している効果**：どの選択肢に対しても一定の期待があった。その中でも「経済波及効果や雇用の創出」、「インフラ整備」、「観光の活性化」に期待を寄せている割合が高かった。一方で、「株価の上昇」や「自社業績の向上」に期待を持っている割合は低かった。

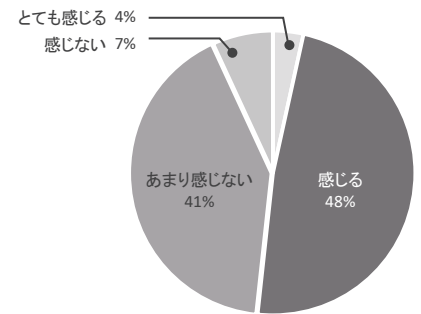
■**課題と不安**：多くの問題について、課題や不安を感じている人が多かった。特に「公共交通機関の混乱、帰宅困難者の発生」や、「マナーや治安の悪化」、「テロの発生」において、過半数の人が課題や不安があると回答した。一方で、「人手不足」や「宿泊施設不足」について不安を持っている割合は低かった。

■**対策 (既存、検討中を含む)**：どの選択肢においても、40%以上の方が対策を検討していないと回答した。その中においても、既に準備している対策としては、「多言語に対応できる翻訳端末の配備」(31.8%) で高く、今後検討する対策としては、「多言語に対応できる翻訳端末の配備」と「休暇推奨」(共に 13.8%) の割合が比較的高かった。

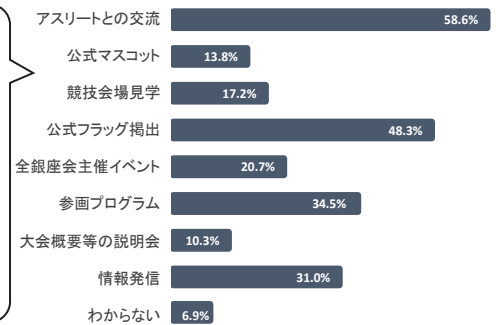
■**期間中の催しについて**：80%近くの回答者が「実施する予定はない」と回答した。しかし、「具体的な検討はないものの、行いたいと考えている」との回答も 5 件あった。

■**来場客対応**：さまざまな取り組みに対して、80%以上が「検討できない」と回答、または無回答であった。「検討しうる」の回答の中では、「トイレの貸出」や「休業する」(共に 13.8%) が比較的高かった。一方で、「ゴミ捨て場の提供」(3.4%) の割合が比較的低かった。

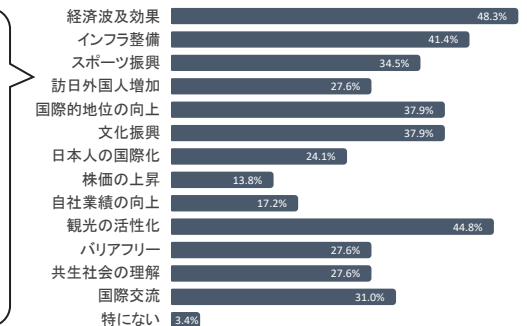
社内や都内で、大会の盛り上がりを感じますか？



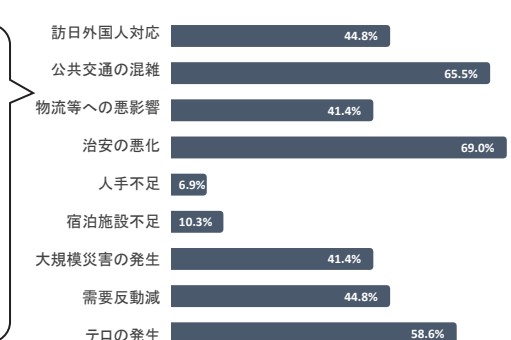
大会を盛り上げるのに有効な取り組みは何ですか？



大会に向けて期待していることはありますか？



大会に向けての課題や不安はありますか？



【発行】 全銀座会 G2020 事務局 TEL & FAX : 03-3561-0960 / E-MAIL : g2020@ginza.jp
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-6-1 三和ビル 3 F

●メール配信をご希望の方はお知らせください●この NewsLetter は、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます●